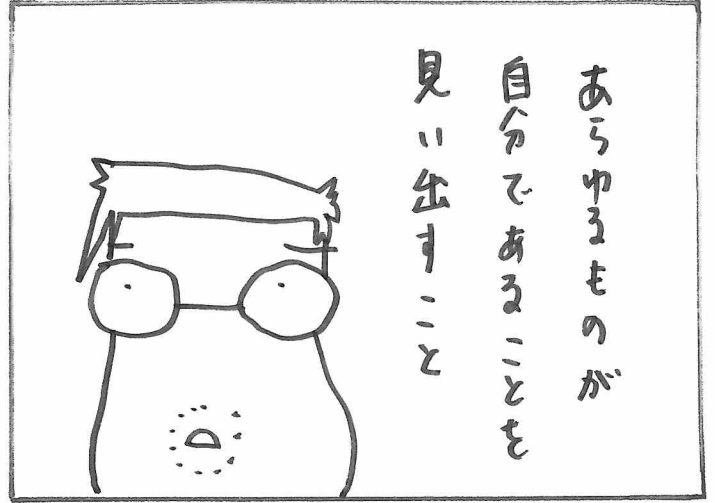
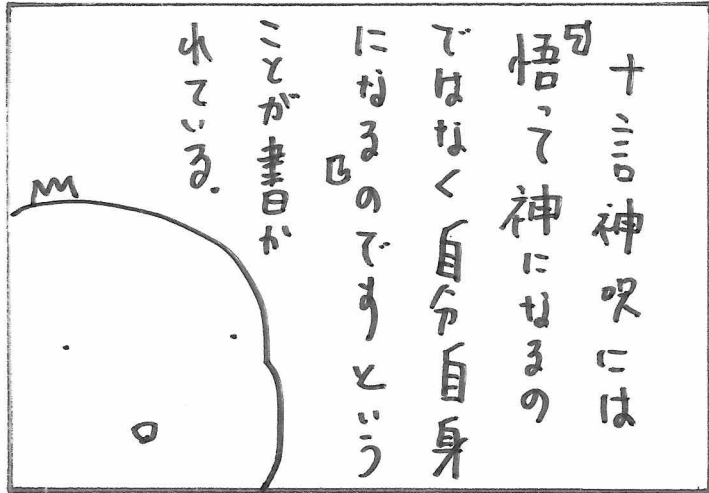


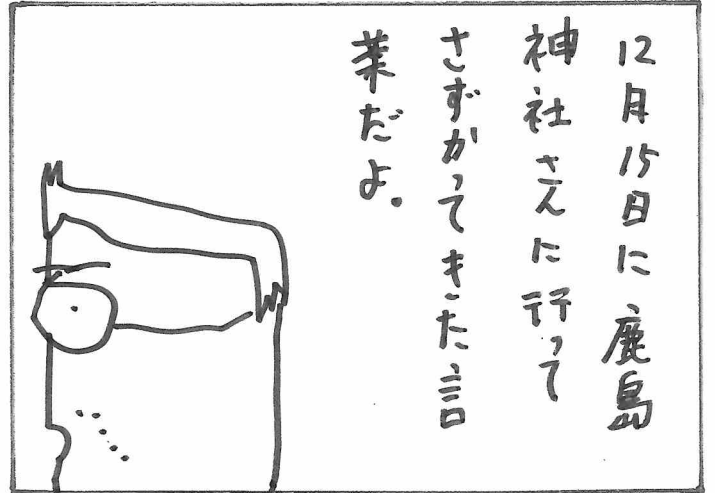
そゆうて
何?



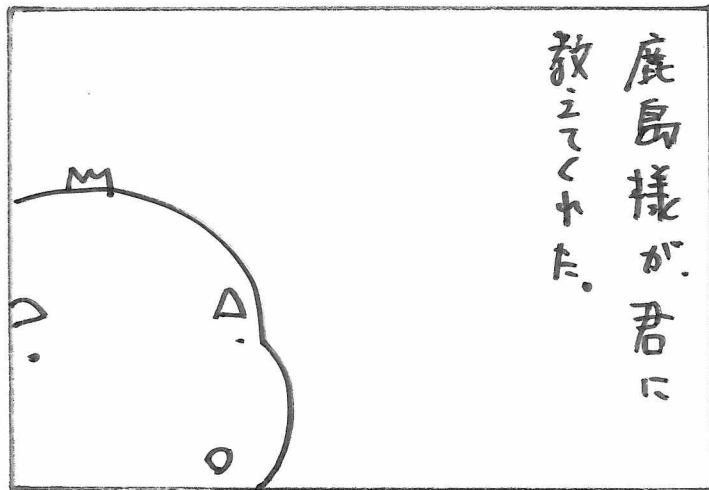
あやゆるものが
自分であることも
見出し出すこと



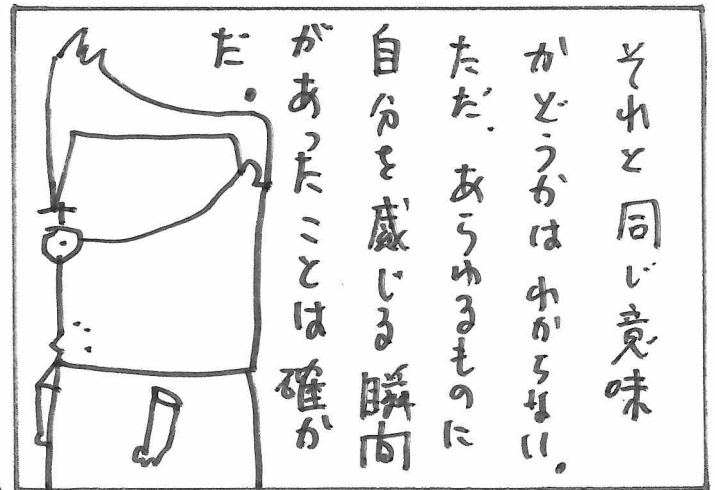
十言神呪には
悟って神になるの
ではなく自分自身
になるのですという
ことがまじまじに
わいている。



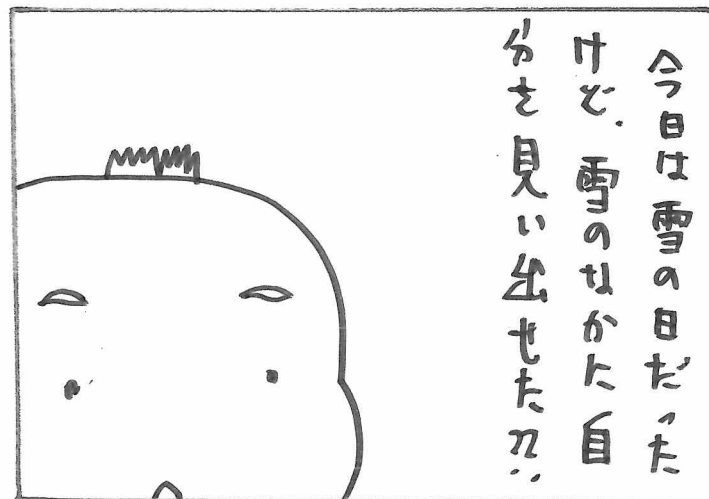
12月15日に鹿島
神社へえに行つて
さすかてきた言
葉だよ。



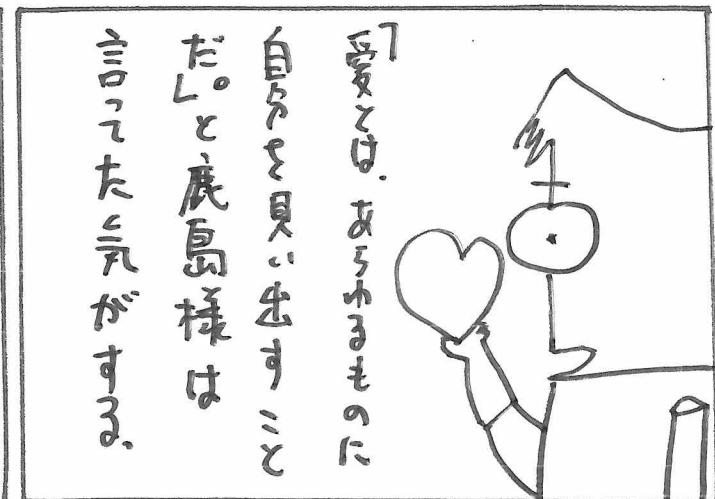
鹿島様が君に
教えてくれた。



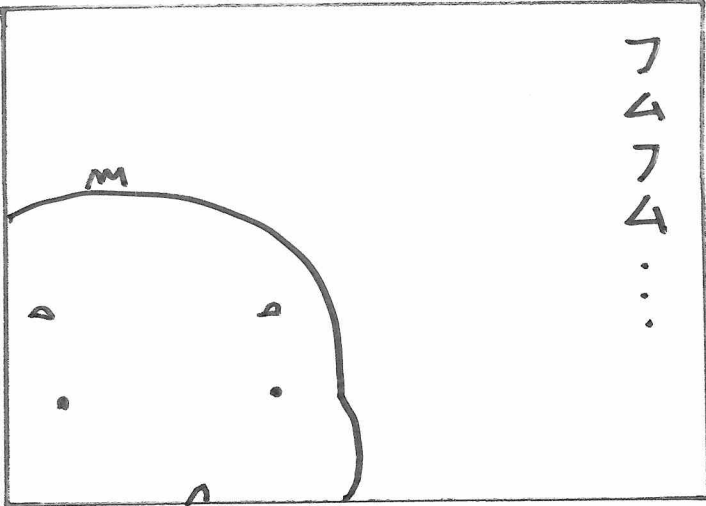
それと同じ意味
かどうかはわからない。
ただ、あやゆるものに
自分を感ずる瞬間
があったことは確か
だ。



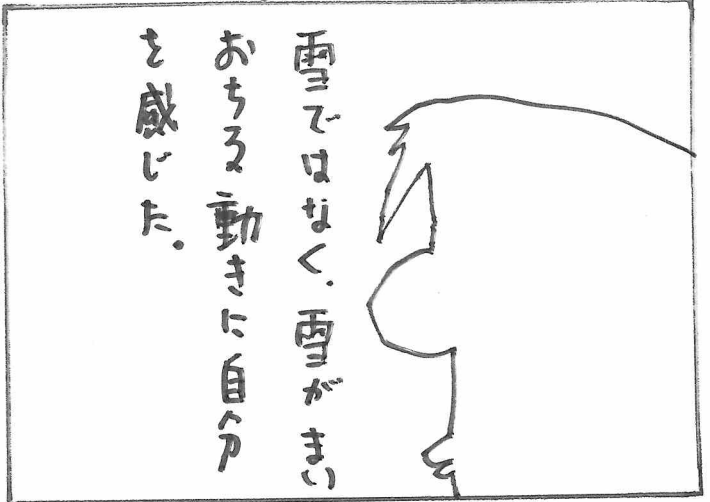
今日は雪の日だった
けど、雪のなかた自
分を見出し出した。



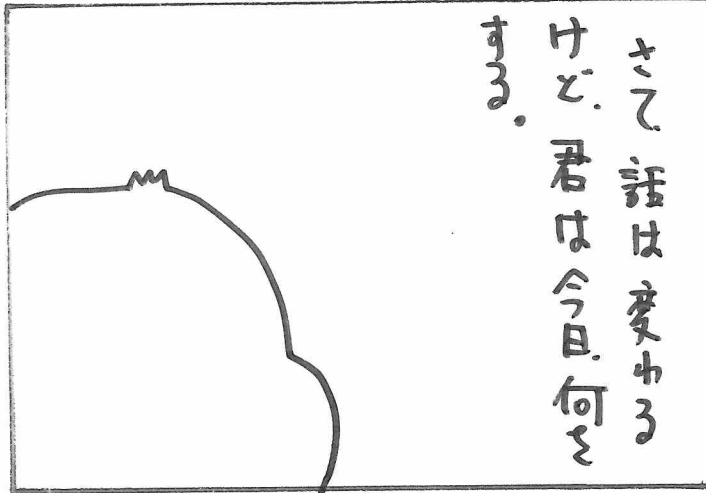
愛とは、あやゆるものに
自分を見出し出すこと
だ。と鹿島様は
言ってきた気がする。



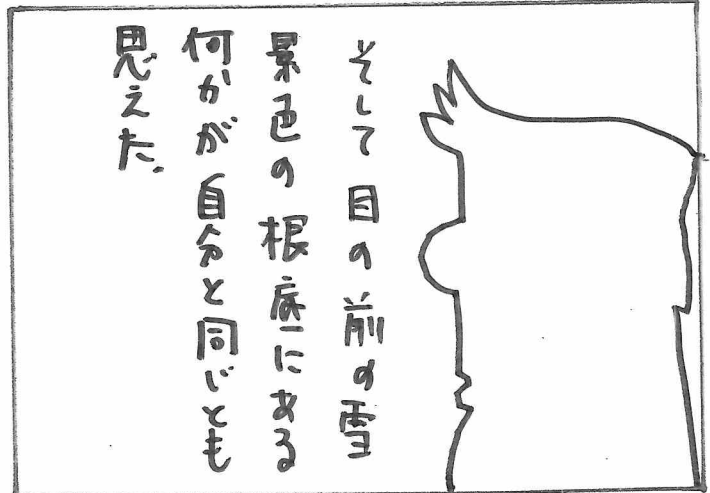
フムフム……



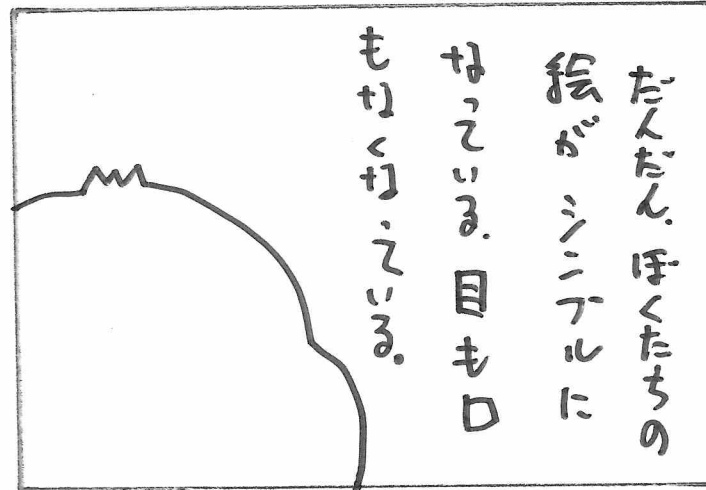
雪ではなく、雪がま
おちる動きに自分
を感じた。



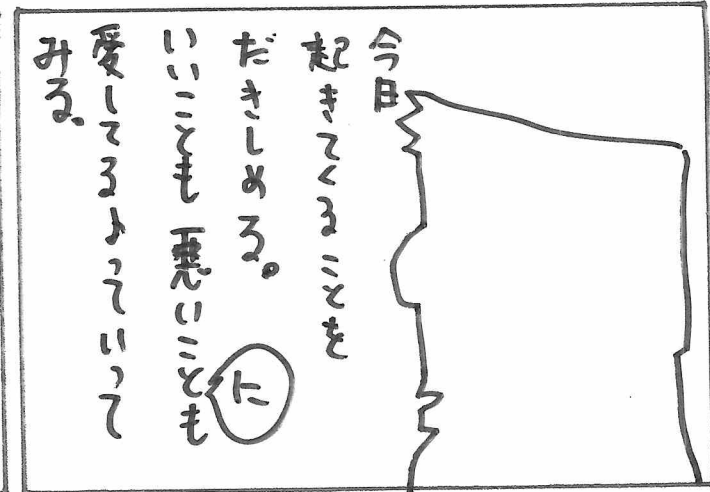
さて話は変わる
けど、君は今日、何を
する。



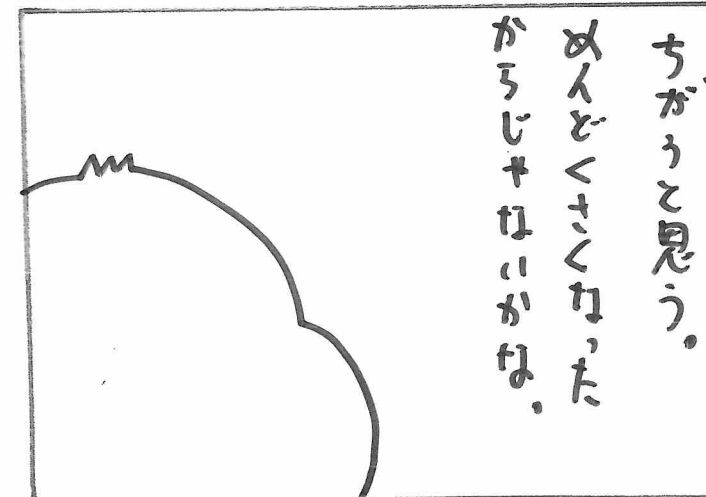
そして目の前の雪
景色の根底にある
何かが自分と同じとも
思えた。



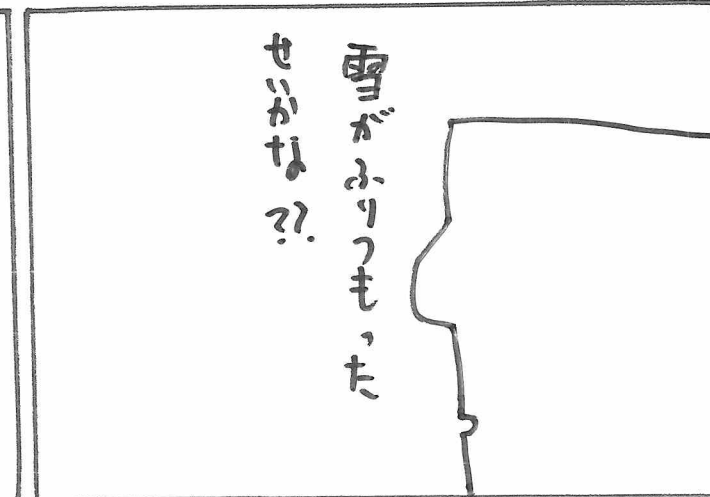
だんだん、ほくたちの
絵がシンプルに
なっている。目も口
もたぐり合っている。



今日
起きてくることを
だきしめる。
いいことも悪いことも
愛してるよっていつ
みる。



ちがうと思う。
めんどうさくなくなった
からじゃないかな。



雪がふりつもった
せいかな??